

3号様式の1

## 排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和5年9月21日				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市中京区西ノ京冷泉町132番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 有限会社 石田伊太郎商店 取締役社長 橋本 辰也 電話 075-821-1191				
主たる業種	鉄鋼一次製品卸売業	細分類番号	5   3   4   2			
事業者の区分	主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択 <input type="checkbox"/> 産業部門 <input checked="" type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門					
計画期間	令和5年4月 ~ 令和8年3月					
基本方針	「地球規模の環境保全への取り組み無くして当社の持続可能な繁栄はない」という意識を社内全体で共有し、かつ中小企業であってもサプライチェーン全体でCO2削減に取り組む必要性を強く認識することで、当社はその旗振り役としてのポジションを目指す。					
計画を推進するための体制	取締役社長を中心としたCO2排出管理チームを発足させ、進捗管理を図る体制を構築する。併せて、脱炭素経営を推進する当社の顧問税理士法人を外部有識者としてチーム編成に加えることで、客観性が担保された合理的なKPIを策定する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (2~4)年度	第1年度 (5)年度	第2年度 (6)年度	第3年度 (7)年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	20.7 トン	13.7 トン	13.7 トン	13.7 トン	-33.8 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	14.6 トン	13.7 トン	13.7 トン	13.7 トン	-6.2 パーセント
	年度ごとの増減率(基準年度比)		-6.2 %	-6.2 %	-6.2 %	
目標の根拠	CO2排出管理チームによる測定管理及び分析による意識改革並びに加工工程における消費エネルギー削減対策によって継続的なCO2排出削減を実現させる。					
具体的な取組及び措置の内容	1年目	CO2排出管理チームにより策定したKPIを全社員で共有し、脱炭素の重要性を社内共有することで当社全体の意識改革を行う。また、取引先経営陣とも情報共有することで自社取組に対する意識を高める。				
	2年目	生産性の高い加工機を導入することで、1加工あたりの加工消費エネルギーを削減させる。また、継続してCO2排出管理チームを中心とした排出測定及びその推移についての分析を実施し社内共有を行う。				
	3年目	老朽化設備の適時更新を意識し、消費電力の高い機械の運用方法変更や入替検討により、加工工程における消費エネルギーの削減に努める。また、継続してCO2排出管理チームを中心とした排出測定及びその推移についての分析を実施し社内共有を行う。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	ペーパーレス化の推進やグリーンステールの導入を検討					
特記事項						

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。